



大砂土中だより

はつ らつ
澆 刺 と



さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

<http://osato-j.saitama-city.ed.jp>

No.6 令和5年9月29日号

秋の気配

校長 上統 昌司

9月16日に無事体育祭を開催することができました。当日は、保護者の皆様にも朝早くから足を運んでいただき、心温まるご声援を沢山いただきました。また、数年ぶりにご来賓の皆様にも大砂土中生の勇姿を観ていただくことができました。お忙しい中、本当にありがとうございました。

さて、ようやく秋の気配を感じるようになってきました。今年の夏は猛暑日が記録的に多く、「いつまでこの暑さが続くのか、いつになったら涼しくなるのか」と何度も思った日々でした。雨の降る日も少なく、晴天続きだったことも付け加わり「早く終わってほしい」と望む気持ちが強くなったのだと思います。そんな暑さも、9月最後の週になって朝夕の風がヒンヤリと感じ、ようやく秋が近づいてきたと実感できました。他にも、空の雲や虫の鳴き声、草花にも秋の気配を感じるようになってきました。入道雲が大きく浮かび上がっていた夏空から、うろこ雲が空一面を覆う秋の空へ。夜耳を澄ますと「リーン、リーン」と心地良い虫の声が聴こえてきます。すずしげで綺麗なその音にしばらく耳を傾けていると、別の場所からは違う虫の声が聴こえてきます。それから「彼岸花」と別名がある曼珠沙華も見かけるようになってきました。お彼岸近くになると、突然のように真っ赤な花を咲かせます。この花が咲く頃には暑さも和らぎ、秋の訪れを告げることから彼岸花と呼ばれるようになり「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉にも結び付きますね。給食のメニューにも秋の食材が盛り込まれています。栗やキノコが入ったご飯を先日食べたばかりです。毎年、当たり前ですが必ず春が来て、夏が来て、秋になり、いつの間にか寒い冬がやってきます。この繰り返し訪れる四季を五感で感じ、それぞれの季節を楽しみたいものです。

厳しい暑さを乗り越え、素晴らしい体育祭を作り上げた大砂土中生を誇りに思います。一人ひとりが、やるべきことに集中し、成功させようと一生懸命に取り組み、楽しむこともできていました。さあ次は、合唱コンクールです。声を合わせ、きれいなハーモニーを響かせ、実りある秋となるよう取り組んでほしいと思います。